

## IGS 日本支部 2022 年通常総会 議事録

1. 日 時： 2022 年 2 月 3 日（木） 16：00～17：00
2. 場 所： Zoom オンライン
3. 議事資料：2022 年通常総会議題書
4. 議事内容
  - (1) 開会宣言
    - ・ 平井幹事長より 2022 年通常総会の開会宣言がなされた。
    - ・ 個人会員の 80%が出席（37 名）又は議長委任（118 名）、特別会員の 95%が出席（10 社）又は議長委任（8 社）で総票数 245。全会員票数 289 の 2 分の 1 を上回り、通常総会は成立した。
  - (2) 議長選出及び議長挨拶
    - ・ 議長には桑野支部長が選出され、承認された。
  - (3) 2021 年事業報告及び 2022 年事業計画【資料 1】
    - ・ 資料に基づき、各委員会より 2021 年活動報告、2022 年活動計画についてそれぞれ説明がなされた。
  - (4) 2021 年収支決算・2022 年予算(案)（財務委員会）【資料 2】
    - ・ 資料に基づき、板垣会計幹事より 2021 年決算報告、2022 年予算(案)について説明がなされ、承認された。
  - (5) 2021 年監査報告【資料 3】
    - ・ 資料に基づき、明永会計監事より 2021 年一般会計は適正かつ正確であることが報告された。
  - (6) 2022 年役員の選出【資料 4】
    - ・ 資料に基づき 2022 年役員の再任・新任・退任について説明がなされ、承認された。
  - (7) 閉会挨拶
    - ・ 桑野支部長の閉会挨拶により、2022 年通常総会は閉会した。

以上

国際ジオシンセティックス学会日本支部  
2022 年通常総会議題書

【 議 事 次 第 】

開会宣言

議長選出

議長挨拶

2021 年事業報告及び 2022 年事業計画 【資料1】

2021 年収支決算 ・ 2022 年予算(案) 【資料2】

2021 年監査報告 【資料3】

2022 年役員選出 【資料4】

閉会挨拶

2022 年 2 月 3 日(木)

於 Zoom オンライン

国際ジオシンセティックス学会日本支部

## 2021年事業報告及び2022年事業計画

### 1. 2021年未会員数 \* ( ) 内は2020年未会員数

正会員	197名	(196名)
学生会員	10名	(11名)
特別会員	20社	(19社)

### 2. 日本支部の主な活動

#### 1) IGS 本部理事会 :

3-1) 2020年は、理事の半数改選選挙が行われ、古閑理事に替わって宮田理事が選出された。

3-2) 理事会 (勝見理事、宮田理事) : 新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンラインで2回実施  
2021年5月28日、10月27~11月8日 (数セッションに分けて実施)

#### 2) IGS 本部対応 (会員名簿の提出、会費納入など)

#### 3) 2021年12月2-3日 第36回ジオシンセティックスシンポジウム

(ソニックシティ (埼玉県さいたま市) および Zoom meeting オンラインのハイブリット開催)

### 3. 刊行物の発行事業

#### 1. 国際ジオシンセティックス学会日本支部会員名簿

#### 2. ジオシンセティックス技術情報 (3月, 7月, 11月)

#### 3. ジオシンセティックス論文集第36巻 (J-Stage で公開)

2022年についても、2021年と同様の国際対応を含む事務局業務を行う

#### 1) 本部対応 (会員名簿の提出、会費納入など)

#### 2) IGS 本部長・副会長・理事について、2022年に選挙が行われる

#### 3) IGS 本部理事会は、日程は未定だが、オンラインで実施となる可能性がある

以上

## ジオシンセティックス技術情報編集委員会2021年 活動報告

### (1) 2021年編集委員会活動報告内容

- 1) 第1回編集委員会（日時：令和3年3月19日(金)，場所：三井化学産資8F会議室/Zoom ハイブリッド開催）
  - ・’21編集体制の確認・検討・決定
  - ・’21.3月号の進捗状況の確認と未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
  - ・’21.7月号の特集「浅層地盤改良への展開」に関する検討
  
- 2) 第2回編集委員会（日時：令和3年5月21日(金)，場所：Zoom開催）
  - ・’21編集体制の確認：委員の交代・追加，下田氏（東洋紡）→江崎氏（ユニチカ），藤城氏（太陽工業）
  - ・’21.3月号の進捗状況の確認と未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
  - ・’21.7月号の特集「浅層地盤改良への展開」に関する検討
  - ・’21.11月号の目次案および編集工程の検討
  - ・ジオシンセティックス使用量アンケート調査について
  
- 3) 第3回編集委員会（日時：令和3年7月14日(水)，場所：Zoom開催）
  - ・’21編集体制の役割分担の確認
  - ・’21.7月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
  - ・’21.11月号の目次案および編集工程の検討
  - ・ジオシンセティックス使用量アンケート調査について
  - ・技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，候補となり得る報文を検討し，次回の委員会で選考することとした。
  
- 4) 第4回編集委員会（日時：令和3年9月17日(金)，場所：Zoom開催）
  - ・技術賞推薦候補，技術奨励賞推薦候補の技術報文について，事前の委員選定結果に基づいて選考した。
  - ・’21編集体制の役割分担の確認
  - ・’21.7月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
  - ・’21.11月号及び’22.3月号の目次案および編集工程の検討
  - ・’22.7月号の特集号テーマと展望執筆者の検討
  - ・ジオシンセティックス使用量アンケート調査について
  
- 5) 第5回編集委員会（日時：令和3年12月10日(金)，場所：地盤工学会会議室/Zoom ハイブリッド開催）
  - ・’22編集体制の役割分担の確認
  - ・’21.11月号の未入稿原稿への対応，次号送り原稿の検討
  - ・’22.3月号の目次案および編集工程の検討
  - ・’22.7月号の特集号テーマと展望執筆者の検討
  - ・支部総会資料の検討

### (2) 2021年委員会設営費報告

内 訳	予算 (円)	実績 (円)	備 考
① 委員会経費 ・編集委員会	200,000	64,000 62,000 7,000	第1回編集委員会交通費 第5回編集委員会交通費 地盤工学会会議室使用料
合 計	200,000	133,000	残 67,000 円

## ジオシンセティックス技術情報編集委員会2022年 活動計画

### (1) 2022年活動予定内容

#### <全体の活動内容>

定期発刊を心掛けるとともに、「技術報文」の投稿については、編集委員による情報収集のほか、情報提供して頂ける会員をオブザーバーという形で委員会にご参加して頂くとともに、シンポジウム掲載論文や他学協会の年次講演会を範疇に入れ、JC-JGS 技術賞候補論文およびJC-JGS 技術奨励賞論文の対象に成り得るような質の高い「技術報文」の掘り起こしを積極的に行う予定である。

毎年、特集号として位置付けられる7月号については、最近のジオシンセティックス技術の動向を探る観点から、また、新たな展開を期待する意味合いから、「防災技術に使われる水辺のジオシンセティックス」をテーマとして技術報文を募集する予定である。(国際ジオシンセティックス会議は2023年9月17-21日に延期)

一方、我が国におけるジオシンセティックス関連の規格・基準の整備の必要性が認識されつつあることから、ISOやASTMで審議中の規格案に関する「審議情報」を積極的に掲載していくとともに、これまで同様、「修士、博士論文概要の紹介」などの掲載を引き続き行う。

昨年から計画している「ジオシンセティックス使用量に関するアンケート調査」を実施し、集計・取りまとめを行い、報告書の作成および技術情報に調査結果を公表する予定である。

#### <具体的な活動内容>

##### 1. ジオシンセティックス技術情報の発行

ジオシンセティックス技術情報は、従来通り年3回の発行とする。

(2022年3月号、2022年7月号、2022年11月号)

##### 2. 編集委員会

編集委員会においては、ジオシンセティックス技術情報を滞り無く発行するための定例業務として、目次案の検討や原稿執筆状況の確認などを行うとともに、編集に際しての問題点の解決を行う。また、継続的な審議事項として、編集方針や内容分類の整理、テーマ特集号の設定、新企画の検討など、読者のニーズに合うように check and review を積極的に行う。なお、5月および7月の編集委員会では、2022年技術賞、技術奨励賞の受賞候補となる技術報文の推薦選考を行う予定である。

開催予定：5回程度（3月、5月、7月、9月、12月を予定）

##### 3. 主査・副査担当者

主査・副査担当においては、編集委員会で決定した編集方針に基づくジオシンセティックス技術情報の実質的な編集作業として、原稿の内容確認などを行う。なお、今年度の主査・副査担当者は以下に示す通りである。また、編集作業は、基本的にはメールで作業を行う。

22年3月号：主査 西村委員， 副査：角田委員，木幡委員長

7月号：主査 竹本委員， 副査：内村委員，土橋委員

11月号：主査 木幡委員長， 副査：藤城委員，山中委員

### (2) 2022年度設営費計画

委員会設営費については、例年通りの交通費として以下の予算案としたい。

内 訳	予算案 (円)	備 考
① 委員会経費 ・編集委員会	200,000	委員会交通費 (50,000×3回+10,000×5回)
合 計	200,000	

## 行事委員会2021年活動報告

### (1) 2021年活動報告

第36回ジオシンセティックスシンポジウムを、2021年12月2日～3日にハイブリッド型式で開催した。対面式はソニックシティ803会議室(最大30名、予約制)、オンライン型式はZoom meetingである。

[第36回ジオシンセティックスシンポジウム・開催概要]

主催：国際ジオシンセティックス学会日本支部

発表件数：19編(研究開発論文17編、事例報告2編)

参加者：98名(申込み者数)、対面参加(12/2：25名、12/3：23名)

◆一般セッション：4

◆特別セッション：4

- ・特別講演：龍岡文夫先生 “地盤工学と補強土壁工法（若干の考察）”
- ・製品・工法紹介セッション(4社) [行事委員会とコーポレートメンバー委員会の共同企画]
- ・事例紹介セッション(4機関・社) [行事委員会と電子情報化委員会の共同企画]
- ・IGS本部報告、勝見武理事、宮田喜壽理事

◆JC-IGS論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式 [詳しくは表彰委員会を参照]

### (2) 2021年委員会設営費報告

内 訳	予 算	実 績	備 考
交通費ほか	50,000	640	
通信費・消耗品費等	30,000	0	
論文集編集アルバイト代	20,000	19,000	
合 計	100,000	19,640	

### (3) シンポジウム収支報告

#### 第36回ジオシンセティックスシンポジウム収入

2021年12月2日・3日

《シンポジウム》	参加者	収入額	《懇親会》	参加者	収入額
正会員	46	¥184,000	参加者	0	¥0
非会員	11	¥66,000	受賞者	0	¥0
招待	14	¥0	招待	0	¥0
優待	10	¥40,000	学 生	0	¥0
学 生	13	¥13,000	講演者	0	¥0
功労者	3	¥0	講演者	0	¥0
講演者	1	¥0	小 計	0	¥0
小 計	98	¥303,000			

《請求書払い》	件数	収入額	《論文集販売》	件数	収入額
正会員		¥0	正会員		¥0
非会員		¥0	非会員		¥0
学 生		¥0	小 計	0	¥0
小 計	0	¥0			

シンポジウム計 98 ¥303,000

総収入 ¥303,000

支 出 内 訳	予 算	実 績	備 考
会場費・設営費	0	57,280	ソニックシティ(埼玉県さいたま市)
論文集印刷費	60,000	33,440	デジタル版
特別講演謝礼	20,000	10,000	
通信費・消耗品・事務局旅費ほか	20,000	2,320	WiFi ルーターレンタル
懇親会費	0	0	
合 計	100,000	103,040	EM関連支出に関しては資料2-2参照

## 行事委員会2022年活動計画

### (1) 2022年活動予定内容

第37回ジオシンセティックスシンポジウムは、2022年12月1日～2日(仮)、オンライン型式での開催を計画している。2022年より投稿システム(EM)の本格運用を開始し、論文募集～編集は随時行う。

- 2月 会場・日時の決定、技術情報誌・会員向けe-mail・HPでの会告掲載
- 7月 会員向けe-mailやHP等で論文集第37巻への登載期限についての通知を行う
- 9月上旬 第1回行事委員会、シンポジウムの形態について判断する
- 10月下旬 第37巻の登載論文の確定～シンポジウムでのセッションプログラムの策定
- 11月上旬 著者・会員へのシンポジウム概要の通知
- 12月1日～2日(仮) 第37回ジオシンセティックスシンポジウム  
一般発表、特別講演、事例紹介セッション、製品・工法紹介、JC-IGS論文賞・奨励賞・技術賞・技術奨励賞表彰式

### (2) 2022年設営費計画

内 訳	予 算	備 考
委員会交通費・事務局旅費ほか	50,000	
通信費・消耗品費等	30,000	
論文集編集アルバイト代	20,000	
合 計	100,000	

### (3) 第37回ジオシンセティックスシンポジウム開催費（オンライン開催）

収 入 内 訳	予 算	備 考
論文登載料	250,000	
シンポジウム参加費	300,000	
懇親会参加費	0	
合 計	550,000	

支 出 内 訳	予 算	備 考
会場費・設営費	0	
EM管理費・システム利用料	260,000	
論文集印刷費	100,000	
特別講演謝礼	100,000	
通信費事務局旅費ほか	90,000	
懇親会費	0	
合 計	550,000	

### 2022年 行事委員会・論文集編集委員会 名簿：

- 委 員 長：小島 謙一 (公益財団法人鉄道総合技術研究所)
- 幹 事：中村 努 (苫小牧高等工業専門学校)
- 幹 事：平川 大貴 (中央大学)
- 委 員：明永 卓也 (三菱ケミカルインフテック株式会社)
- 委 員：荒木 裕行 (香川大学)
- 委 員：河村 隆 (信州大学)
- 委 員：橘 伸也 (神戸大学)
- 委 員：竜田 尚希 (富山大学)
- 委 員：辻 慎一郎 (前田工織株式会社)
- 委 員：峯岸 邦夫 (日本大学)
- オブザーバー：内村 太郎 (埼玉大学)

以上

## 学生・教育委員会2021年活動報告

### (1) 2021年活動報告内容

#### 1) 委員会開催内容

入門セミナー・見学会の開催企画の検討（委員会開催できず）

#### 2) 行事開催

入門セミナー

開催なし

見学会

開催なし

### (2) 2021年委員会設営費報告

内 訳	予 算	実 績	備 考
委員会設営費【支出】			
入門セミナー経費	50,000	0	
見学会経費	50,000	0	
合計	100,000	0	

## 学生・教育委員会2022年活動計画

### (1) 2022年活動予定内容

#### 1) 委員会開催

入門セミナー・見学会等の企画および技術資料の提供等に関して年2回程度のオンラインでの委員会を開催予定。

#### 2) 行事開催

ジオシンセティックス入門セミナー

現場見学会

### (2) 2022年設営費計画

内 訳	予 算
委員会設営費	
見学会経費	50,000
入門セミナー経費	50,000
合計	100,000



## 表彰委員会2021年活動報告

### (1) 2021年表彰委員会活動報告内容

2021年IGS日本支部賞の選考

2021年IGS日本支部賞は下記の各賞について表彰規定により、表彰委員会にて選考した。

2021年12月2日のシンポジウム開催時に表彰を行った。以下に表彰者を示す。

#### ①JC-IGS論文賞

(ジオシンセティックスに関する学術および技術の進展に顕著な貢献をした論文の著者)

本條貴之

「有機化合物の通過速度からみた遮水シートの細孔特性の推定」

#### ②JC-IGS論文奨励賞

(ジオシンセティックスに関する研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者)

橋本功, 住山琢哉

「保護マット付き遮水シートにおける石材貫入時の変形特性と法面上での受圧傾向」

#### ③JC-IGS技術賞 (ジオシンセティックスに関する技術の進展に顕著な貢献をした、個人・グループ)

川本卓人, 森田晃司, 粕谷悠紀

「城郭石垣の崩落を防止する補強材「グリグリッド®」の開発」

#### ④JC-IGS技術奨励賞

(ジオシンセティックスに関する技術的研究を行い、将来、学術および技術の進展に貢献が期待される論文の著者)

野本太

「D・Boxを用いた軟弱地盤対策工」

### (2) 2021年表彰委員会設営費報告

賞状代	37,772
盾代	75,625
宅急便代	7,450

計 120,847円

## 表彰委員会2022年活動計画

### (1) 2022年表彰委員会活動予定内容

2022年IGS日本支部賞の選考, 報告など

IGS賞本部賞の選考など

### (2) 2022年表彰委員会予算案

盾、賞状作成費として 150,000円

以上

# 電子情報化委員会 2021年活動報告

(1) 2021年活動報告内容

## <主な活動内容>

- ・HPの更新、改良（ニュース、データベースなど）
- ・論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
- ・委員会報告の充実

### 1. HPの更新、改良について

IGS本部、日本支部からの行事や情報についてHPを中心に発信

○URL <http://www.jcigs.org/>

### 2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

#### 論文集：

J-Stageにおいてジオシンセティクス論文集を公開

- ・論文集 Vol.36 のJ-Stageへの登録、公開（12月（シンポジウム後））
- ・論文集 Vol.35 の無料公開（12月）
- ・J-Stage事務局との対応・調整

#### 技術情報誌：

2020年7月号まで全て掲載

### 3. その他

- ・各委員会サイト公開及びメンテナンス（更新）
- ・シンポジウムにおける情報公開等の対応
- ・シンポジウムにおいて、現場事例紹介セッションを行事委員会との共同で実施

(2) 2021年設営費

予算：100,000円

(内訳)

・HPメンテナンス作業	50,000円
・技術情報誌電子公開作業	10,000円
<支出合計>	60,000円
<残 金>	40,000円

(※) 論文集電子化作業 19,000円（行事委員会から支出）

## 電子情報化委員会 2022年活動計画

(1) 2022年活動予定内容

### <主な活動内容>

- ・HPの更新、改良（ニュース、データベースなど）
- ・論文集の公開、技術情報誌の電子化、公開
- ・委員会報告の充実

### 1. HPの更新、改良について

IGS本部、日本支部からの行事や情報についてHPを中心に発信

○URL <http://www.jcigs.org/>

### 2. 論文集の公開、技術情報誌の電子化

#### 論文集：

J-Stageにおいてジオシンセティクス論文集を公開

- ・論文集 Vol.37 のJ-Stage への登録、公開
- ・J-Stage 事務局との対応・調整

#### 技術情報誌：

2021年7月号まで全て掲載

### 3. その他

- ・会員サービスの充実と国内・外への情報発信を目標
- ・各委員会サイト公開及びメンテナンス（更新）

(2) 2022年設営費計画

予算：100,000円

(内訳)

・HPメンテナンス作業	50,000円
・技術情報誌電子公開作業	10,000円
・論文集電子化作業	30,000円
・その他（事務手数料他）	10,000円
<支出合計>	100,000円

2022年度 電子情報化委員会組織体制（案）

- ・河村委員長
- ・内村委員
- ・林委員
- ・久保委員
- ・小島委員
- （増員予定）

## ジオメンブレン技術委員会（第XIステージ）2021年活動報告

### (1) ジオメンブレン技術委員会 2021年活動報告

2021年は2018年後半よりスタートした第XIステージ「遮水材料の超長期耐久性」について活動を実施した。

活動内容としては、供用中の最終処分場より廃棄物に埋没していた遮水材料のサンプリング調査を実施し、2009年にジオメンブレン技術委員会より発行した「廃棄物処分場における遮水シートの耐久性評価ハンドブック」を改訂することを主な内容とする。

2021年においては、採取したサンプルの試験結果を用いた回帰分析等による遮水シートの耐久性についての統計的な検討を実施した。

### (2) 2021年委員会設営費報告

#### 委員会開催

2021年 委員会設営費報告（自2021年1月1日 ～至2021年12月31日）

科目	予算	決算	備考
委員交通費	¥300,000 -	¥204,420 -	委員会6回開催 (内4回WEB開催)
通信・消耗品費等	¥100,000 -	¥0 -	
未執行		¥195,580 -	
合計	¥400,000 -	¥400,000 -	

## ジオメンブレン技術委員会（第XIステージ）2022年活動計画

### (1) 2022年活動予定内容

第XIステージのテーマ「遮水材料の超長期耐久性」を2022年も継続実施し、実施済みの14最終処分場からのサンプリング調査の結果をNPO法人 廃棄物地盤工学研究会、NPO法人 最終処分場技術システム研究協会、日本遮水工協会等の関連団体との協業にて取り纏めを行い、耐久性評価についてのハンドブック改訂に向けた取り組みを行う。

#### 委員会組織（予定）

委員長： 島岡 隆行（九州大学大学院 工学研究院）

副委員長： 勝見 武（京都大学大学院 地球環境学堂）

副委員長： 熊谷 浩二（八戸工業大学 名誉教授）

※ 委員については公募を行い、随時見直しを行う。

### (2) 2022年設営費計画

2022年 委員会予算（自2022年1月1日 ～至2022年12月31日）

科目	予算	備考
委員交通費	¥300,000 -	委員会7回開催
通信・消耗品費等	¥100,000 -	郵便、通信、封筒、マニュアル印刷費等
合計	¥400,000 -	

## ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅷステージ）2021年活動報告

### （1）ジオテキスタイル技術委員会 2021年活動報告

2021年は、新ステージの活動テーマの検討のみ行った。

### （2）2021年委員会設営費報告（自2021年1月1日～至2021年12月31日）

科目	予算	決算	備考
委員交通費	¥130,000-	¥0-	
通信・消耗品費	¥10,000-	¥0-	
合計	¥140,000-	¥0-	

## ジオテキスタイル技術委員会（第Ⅷステージ）2022年活動計画

### （1）2022年活動予定内容

ジオテキスタイル技術委員会第Ⅷステージでは、活動テーマを決定し、委員を募集して、委員会を3回開催する。

### （2）2022年設営費計画

科目	予算	備考
委員交通費	¥60,000-	委員会3回開催：¥20,000(1回)×3回= ¥60,000
謝金	¥60,000-	講演謝金 ¥20,000(1回)×3回= ¥60,000
通信・消耗品費	¥20,000-	郵便、通信、資料コピー
合計	¥140,000-	

## コーポレートメンバー委員会2021年活動報告

### (1) 2021年活動報告内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載した。
  - ・3月号 岡三リビング株式会社
  - ・7月号 株式会社クラレ
  - ・11月号 ジオシステム株式会社
- ジオシンセティックスシンポジウムでコーポレートメンバーの工法/材料紹介の実施  
※行事委員会と協調
- 新規入会：大嘉産業株式会社

### (2) 2021年委員会設営費報告

委員会設営費 : 収入 50,000 円  
支出 5,000 円  
残金 45,000 円

9月8日(水) 13:00~15:00 コーポレートメンバー委員会  
対面形式とオンライン形式のハイブリッド開催：出席者15名  
※5名分の交通費として使用

## コーポレートメンバー委員会2022年活動計画

### (1) 2022年活動予定内容

- 『ジオシンセティックス技術情報』コーポレートメンバーのページを各社で掲載する。
- ジオシンセティックス使用量アンケート調査への協力
- コーポレートメンバー会議の開催
- 各委員会からの連絡事項への協力と協調
- IGS本部理事選挙への協力
- その他/会社単位での入会勧誘活動を行う。

### (2) 2022年設営費計画

委員会設営費 : 収入 50,000 円

※) 会議費等で使用予定

## 新技術委員会2021年活動報告

### (1) 2021年活動報告内容

新技術委員会では2021年の活動として、

- ① ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催
  - ② 新技術関連の講演会の開催を計画した。
- ①については、開催することができなかった。  
②については、開催することができなかった。

### (2) 2021年委員会設営費報告

2021年の設営費報告を以下に示す。

収入	支出	残額	支出項目	備考
100,000	0			
		100,000		

## 新技術委員会2022年活動計画

### (1) 2022年活動予定内容

新技術委員会では2022年も2021年に活動ができなかった分、積極的に活動を行う。

活動内容としては、

- ① ジオシンセティックスの新技術情報の調査・研究や新技術委員会の活性化を目的とした、現場見学・工場見学の開催
- ② 新技術関連の講演会の開催

### (2) 2022年設営費計画

2022年の設営費計画を以下に示す。

交通費	会議費	講演会費	計	備考
30,000	20,000	50,000	100,000	

以上

## ジオシンセティック試験法委員会2021年活動報告

### (1) 試験法委員会の活動概要

- ・地盤工学会基準部に設置されている室内試験規格・基準検討委員会内のジオシンセティックスWGと連携して作業を進めている。
- ・「JIS L 1908 ジオテキスタイル試験方法」を廃止し、A分類で新規制定するための準備を行った。具体的には、コーポレートメンバー委員会の委員との意見交換、及び、地盤工学会、規格協会と廃止・新規制定に係る作業準備について検討した。

### (2) 2021年委員会設営費報告

2021年は、経費節減のため、メール審議を中心に活動したことから、委員会設営費を使用せずに活動した。

内 訳	予算 (円)	実績 (円)	備 考
① 委員会経費 ・試験法委員会	200,000	0	
合 計	200,000	0	残 200,000 円

## ジオシンセティック試験法委員会2022年活動計画

### (1) 活動計画

- 1)地盤工学会／ジオシンセティックスWGと連携して、「JIS L 1908 ジオテキスタイル試験方法」の改訂に向けての準備を行うとともに、コーポレートメンバー委員会との意見交換を継続して行う予定である。
- 2) ISO で制定されている国際規格を参照しながら、今後、我が国において必要なジオシンセティックス基準を検討するとともに、土研センター、国内メーカー及び関連協会等と意見交換しながら、基準化すべき試験法を抽出する。
- 3)国内のジオシンセティック試験法に対する要望を収集するために、継続的に、IGS 日本支部コーポレートメンバー委員会との意見交換会を実施する予定である。

### (2) 2022年設営費計画

委員会を2回開催する予定であることから、以下の予算案としたい。

内 訳	2022年予算案 (円)	備 考
① 委員会経費 ・試験法委員会	200,000	委員会交通費 (100,000×2回) 熊本あるいは苫小牧ー東京(2回程度)
合 計	200,000	



# IGS日本支部 2021年会計決算

期間：2021年1月1日～2021年12月31日

資料2-1

## < 収入の部 >

科 目	2021年 予算	2021年 実績	備 考
<b>1. 会費等収入</b>			
①2021年分			
個人会員	1,568,000	1,500,000	188名 × 8,000円 (過払い預り金▲4,000-)
学生会員	11,000	11,000	11名 × 1,000円
法人会員	4,560,000	4,800,000	20社 × 240,000円
先払分	0	50,000	2022年以降分(個人・学生年会費)
②本部還付金			
法人会員分	102,600	104,367	19社 × 50\$ (109.86円/\$)
(小計)	6,241,600	6,465,367	
<b>2. 講習会・出版物販売収入</b>			
シンポジウム	250,000	303,000	参加費(論文集代)
書籍・ビデオ等販売	3,000	5,000	論文集・技術情報
(小計)	253,000	308,000	
<b>3. 広告等収入</b>			
技術情報誌広告	528,000	528,000	3月号・7月号・11月号
(小計)	528,000	528,000	
<b>4. 受取利息</b>			
受取利息	100	129	
(小計)	100	129	
<b>収入合計</b>	<b>7,022,700</b>	<b>7,301,496</b>	
<b>5. 繰越金</b>			
繰越金	22,528,651	22,528,651	前期繰越金
<b>総 合 計</b>	<b>29,551,351</b>	<b>29,830,147</b>	

## ＜ 支出の部 ＞

科 目	2021年 予算	2021年 実績	備 考
<b>1. 本部国際学会費</b>			<b>担当：事務局</b>
個人会員	635,040	616,314	187名 × 30 \$ (109.86円/\$)
法人会員	2,052,000	2,087,340	19社 × 1,000 \$ (109.86円/\$)
(小計)	2,687,040	2,703,654	
<b>2. 出版費・講習会等補助費</b>			<b>担当：行事委員会</b>
シンポジウム	100,000	103,040	＜アトラス社Editorial Manager＞
＜論文集関連費用＞			
★EMシステム初期設定料	0	495,000	論文投稿システム導入
★EMシステムサポート料	0	99,000	9ヶ月 (2021年7月～2022年3月分)
★EMシステム使用料	0	88,000	4,400円/編 × 20編
技術情報(3・7・11月号)	1,150,000	950,565	<b>担当：編集委員会</b> *2020年11月号含む
会員名簿	150,000	128,480	<b>担当：事務局</b>
講習会・見学会補助費	100,000	0	
(小計)	1,500,000	1,864,085	
<b>3. 委員会経費</b>			<b>担当：各委員会</b>
国際連絡委員会	1,500,000	0	本部理事会Web開催
編集委員会	200,000	133,000	技術情報発行費別
行事委員会	100,000	19,640	論文集電子化作業費含む
学生・教育委員会	100,000	0	
表彰委員会	150,000	120,847	盾・賞状作製費
電子情報化委員会	100,000	60,000	HPメンテナンス, 技術情報誌電子公開作業費
ジオメンブレン技術委員会	400,000	204,420	
ジオテキスタイル技術委員会	140,000	0	
コーポレートメンバー委員会	50,000	5,000	
技術委員会	300,000	0	
新技術委員会	100,000	0	
ジオシンセティックス試験法委員会	200,000	0	
(小計)	3,340,000	542,907	
<b>4. 事務局経費・その他</b>			<b>担当：事務局</b>
総会	50,000	0	会場費, 懇親会費, 往復はがき, 荷物発送費
地盤工学会(特別会員2級)	200,000	160,000	年会費, 会議室使用料, コピー代他
レンタルサーバー代	200,000	180,180	HP・メールリングリスト用・Zoomライセンス
通信費	150,000	104,644	郵便物発送費・着払い費
消耗品費	50,000	1,500	事務消耗品
備人費	500,000	500,000	事務局備人費
幹事会	40,000	0	会議費
手数料	30,000	23,080	年会費郵便局払込手数料, 銀行各種手数料
その他	150,000	1,020	慶弔費等, 謝金, 事務局交通費他
(小計)	1,370,000	970,424	
<b>支出合計</b>	<b>8,897,040</b>	<b>6,081,070</b>	
<b>5. 繰越金</b>			
繰越金	20,654,311	23,749,077	次期繰越金
<b>総 合 計</b>	<b>29,551,351</b>	<b>29,830,147</b>	

# IGS日本支部 2022年会計予算

期間：2022年1月1日～2022年12月31日

資料2-3

## < 収入の部 >

科 目	2022年 予算	備 考
<b>1. 会費等収入</b>		
①2022年分		
個人会員	1,576,000	197名 × 8,000円
学生会員	10,000	10名 × 1,000円
法人会員	4,560,000	19社 × 240,000円
②本部還付金		
法人会員分	114,000	19社 × 50 \$ (120.00円/\$)
(小計)	6,260,000	
<b>2. 講習会・出版物販売収入</b>		
シンポジウム	550,000	論文登載料・参加費
書籍・ビデオ等販売	3,000	
(小計)	553,000	
<b>3. 広告等収入</b>		
技術情報誌広告	528,000	3月号・7月号・11月号
(小計)	528,000	
<b>4. 受取利息</b>		
受取利息	100	
(小計)	100	
<b>収入合計</b>	<b>7,341,100</b>	
<b>5. 繰越金</b>		
繰越金	23,749,077	前期繰越金
<b>総 合 計</b>	<b>31,090,177</b>	

## ＜ 支出の部 ＞


科 目	2022年 予算	備 考
<b>1. 本部国際学会費</b>		<b>担当:事務局</b>
個人会員	709,200	197名 × 30\$ (120.00円/\$)
法人会員	2,280,000	19社 × 1,000\$ (120.00円/\$)
新規入会金	36,000	1社 × 300\$ (120.00円/\$)
(小計)	3,025,200	
<b>2. 出版費・講習会等補助費</b>		
シンポジウム	550,000	<b>担当: 行事委員会</b>
技術情報(3・7・11月号)	1,150,000	<b>担当: 編集委員会</b>
会員名簿	150,000	<b>担当: 事務局</b>
講習会・見学会補助費	100,000	
(小計)	1,950,000	
<b>3. 委員会経費</b>		<b>担当: 各委員会</b>
国際連絡委員会	1,500,000	本部理事会派遣費
編集委員会	200,000	技術情報発行費別
行事委員会	100,000	シンポジウム・論文集発行費別
学生・教育委員会	100,000	見学会・入門セミナー含む
表彰委員会	150,000	盾・賞状作製費含む
電子情報化委員会	100,000	
ジオメンブレン技術委員会	400,000	
ジオテキスタイル技術委員会	140,000	
コーポレートメンバー委員会	50,000	
技術委員会	300,000	調査費用 (技術委員会全体の予備費)
新技術委員会	100,000	
ジオシンセティックス試験法委員会	200,000	
(小計)	3,340,000	
<b>4. 事務局経費, その他</b>		<b>担当: 事務局</b>
総会	50,000	オンライン開催準備費
地盤工学会(特別会員2級)	200,000	年会費, 会議室使用料, コピー代他
レンタルサーバー代	200,000	HP・メールングリスト用・Zoomライセンス
通信費	150,000	技術情報発送費, 郵便物発送費
消耗品費	75,000	事務消耗品
備人費	500,000	事務局備人費
幹事会	40,000	会議費
手数料	30,000	年会費郵便局払込手数料, 銀行各種手数料
その他	150,000	慶弔費等, 謝金, 事務局交通費他
(小計)	1,395,000	
<b>支出合計</b>	<b>9,710,200</b>	
<b>5. 繰越金</b>		
繰越金	21,379,977	次期繰越金
<b>総 合 計</b>	<b>31,090,177</b>	

# 監 査 報 告 書


国際ジオシンセティックス学会日本支部の2021年一般会計について  
帳簿・証票・書類等を検証の結果、適正かつ正確であることをご報告申し上げます。

2022年2月3日

監事 明永 卓也

署名 明永卓也 

監事 石川 雅洋

署名 石川雅洋 

## 国際ジオシンセティックス学会日本支部 2022年 役員名簿

2022年2月3日

支部長	桑野 二郎	(埼玉大学)
副支部長	*宮田 喜壽	(防衛大学校)
幹事長	*平井 貴雄	(三井化学産資株式会社)
副幹事長	*久保 哲也	(前田工織株式会社)
会計・幹事	*板垣 聡	(前田工織株式会社)
幹事	井場 道夫	(三ツ星ベルト株式会社)
幹事	内村 太郎	(埼玉大学)
幹事	*勝見 武	(京都大学)
幹事	鎌尾 彰司	(日本大学)
幹事	嘉門 雅史	(一般社団法人環境地盤工学研究所)
幹事	#河村 隆	(信州大学)
幹事	*菊池 喜昭	(東京理科大学)
幹事	清川 伸夫	(東京インキ株式会社)
幹事	熊谷 浩二	(八戸工業大学)
幹事	小島 謙一	(公益財団法人鉄道総合技術研究所)
幹事	木幡 行宏	(室蘭工業大学)
幹事	*篠田 昌弘	(防衛大学校)
幹事	*島岡 隆行	(九州大学)
幹事	龍岡 文夫	(東京大学・東京理科大学)
幹事	榊尾 孝之	(大嘉産業株式会社)
幹事	三木 博史	(株式会社三木地盤環境工学研究所)
幹事	*峯岸 邦夫	(日本大学)
幹事	毛利 栄征	(茨城大学)
幹事	矢島 寿一	(明星大学)
監事	明永 卓也	(三菱ケミカルインフラテック株式会社)
監事	石川 雅洋	(東洋紡株式会社)
事務局	奈良真紀子	(IGS 日本支部事務局)

\* 再任 # 新任